

# 花巻 歴史探訪

【問い合わせ】本庁文化課(☎23-52600)



## 早池峰神社本殿

慶長17年(1612年)建立。

(所在地 大迫町内川目岳)



## 岳妙泉寺絵図

制作年代不明。

(大迫郷土文化保存伝承館蔵)  
(紙本着色、横119センチ、縦79・4センチ)

**早池峰神社本殿** 大迫・岳地区にある早池峰神社は、江戸時代に「新山堂」と呼ばれ、「岳妙泉寺」の奥宮として祀られていました。岳妙泉寺は、盛岡藩主・南部利直公によって早池峰大権現を祀る別当寺として慶長15年(1610年)から3年かけて整備されました。以後、歴代の藩主から手厚い庇護を受けていましたが、明治初年の廃仏毀釈により廃寺となり、この場所に残ったのは、仏教色を廃して神社となった新山堂(現早池峰神社)と住職が住んでいた庫裡だけでした。早池峰神社はこれまで何度か修復されていますが、随所に建築当時の力強い様式が残されていることから、昭和47年10月に県指定有形文化財となっています。

**岳妙泉寺絵図** この絵図は、江戸時代中頃に制作されたと思われる岳妙泉寺の俯瞰図です。客殿(本堂)を中心に新山堂、薬師堂、白髭堂、庫裡、鐘堂、舞殿などの建物が配置され、それを取り巻くように築地塀や櫓門が描かれています。まるで城館のように見える造りとなっているのは、この寺が早池峰大権現を祀る別当寺として整備されただけでなく、海岸方面からの侵略者を警戒し、緊急時には藩主の隠れ城的な役割を担っていたからです。